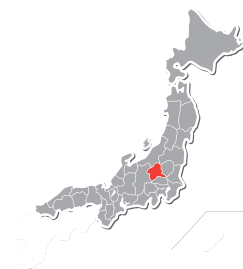


群馬県農業共済組合



1 群馬県の紹介

群馬県の形は、鶴が大空を舞っているような形になぞられることから、「つる舞う形の群馬県」という言葉でよく形容されます。群馬県の歴史や名所、人物などを題材にした郷土かるた「上毛かるた」の読み札の一つで、この言葉は県民なら誰もが耳にしたことのある言葉です。

関東地方の北西部に位置する県で、県西部・北部には山々が連なり、豊かな自然に恵まれた内陸県です。日本では数少ない「海なし県」のひとつでもあります。

人口は約186万人、県庁所在地は前橋市です。一方、交通や商業の拠点として大きな役割を担っているのが高崎市です。



高崎駅には上越新幹線、北陸新幹線が乗り入れ、首都圏と新潟、長野、北陸方面を結ぶ重要な交通拠点となっています。また、高速道路も関越自動車道、上信越自動車道、北関東自動車道が県内を通り、首都圏や信越、東北方面へのアクセスに恵まれています。首都圏からのアクセスの良さに加え、豊かな自然や暮らしやすさが評価され、令和7年の「移住希望地ランキング」では2年連続1位となるなど移住先としての注目も高まっています。

県内には多くの温泉地があり、草津温泉をはじめ伊香保温泉、水上温泉、四万温泉、万座温泉など全国に名の知れた温泉地が点在しています。草津温泉は、令和8年の「じゃらん人気温泉地ランキング」で「もう一度行ってみたい温泉地」で1位に選ばれるなど日本を代表する温泉地として高い人気を誇っています。



草津温泉

2 群馬県の農業

首都圏に近く、高速道路などの交通網も整っているため、農産物を新鮮なうちに届けやすいという強みがあります。また、標高差に富んだ地形や地域ごとの気候を生かし、さまざまな農産物が生産されています。

代表的な農産物の一つがキャベツです。標高の高い嬬恋村では、夏でも涼しい気候を生かした夏秋キャベツの生産が盛んで出荷量は、農林水産省の「令和6年度野菜生産出荷統計」で55年連続全国1位となっています。

また、県北部の昭和村、渋川市、沼田市などはこんにゃくいもの一大産地として知られています。「令和7年産作物統計調査」では栽培面積が全国の約93%を占め、全国1位となっています。

そして、本県の農業を語るうえで欠かせないのが養蚕です。かつては多くの農家が蚕を育て、繭から生糸を生産していました。その歴史を象徴するのが富岡製糸場で、養蚕と製糸業の発展は地域の産業を支えました。

このように、本県農業は、首都圏に近い地理的な利点と、豊かな自然や地域ごとの気候を生かして発展してきました。



嬭恋村のキャベツ畑

3 群馬県農業共済組合の概要

- 本所所在地：群馬県前橋市大友町一丁目3番地の12
- 理事：16名
- 監事：3名
- 職員数：152名（令和8年7月現在）



4 群馬県農業共済組合の活動

平成22年4月、県内全域を区域とした群馬県農業共済組合（NOSA I ぐんま）が発足しました。本所を前橋市に置き、発足当初は県内11支所・3家畜診療所で事業を展開してきましたが、現在は、4支所・1家畜診療所の体制で県内農業者の経営を支える活動に取り組んでいます。

近年、地球温暖化などの気候変動により、猛暑や渇水、集中豪雨、大規模地震などの自然災害が頻発、激甚化しています。加えて肥料・飼料・燃油の生産資材価格も高騰しており、農業経営を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。こうした自然災害や生産コストの上昇など、さまざまなリスクが農業経営に大きな影響を及ぼしています。

このような状況の中、本組合は「収入保険制度」と「農業共済制度」の二つの農業保険制度の必要性を農業者に周知し、加入推進に積極的に取り組んでいます。また、災害によって農作物や農業施設に被害が発生した際は、迅速に被害状況を確認し早期に共済金が支払われるよう努めています。

さらに、行政、関係機関と連携を図りながら、無保険者の解消に努め、すべての農業者に安心を届けることを心掛けています。

農業者の皆さまが将来にわたって安心して営農を続けていく支えとなるべく、農業保険制度の普及・推進に全力で取り組み、農業の持続的な発展に貢献していきます。